

研究所だより

目次

- 千葉県教育の現状と課題について …… 1
- 各校今年度の研究主題等について …… 2, 3
- 長期研修生の紹介 …… 4
- 長生地方教育研究所の紹介 …… 5, 6



「千葉県教育の現状と課題について」

千葉県教育庁東上総教育事務所
所長 酒井 誠 一

1 はじめに

この4月に教育振興部教職員課副参事から、東上総教育事務所に就任しました。どうぞよろしくお願ひいたします。

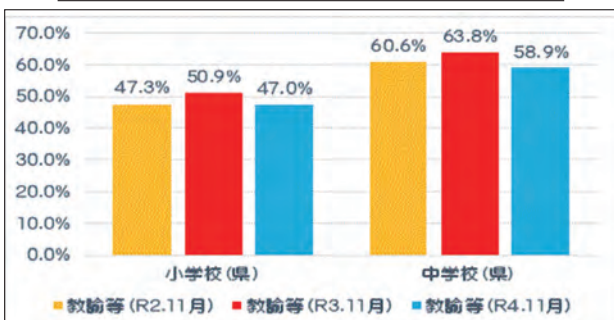
東上総教育事務所は、令和5年度の運営方針を『「SEC」(S:スマイル, スピード, サービス, サポート, E:エキスパート, C:コンプライアンス)で皆さんを応援します。』とし、「事務所は、学校・家庭・地域の応援団!」というスローガンを掲げ、所員一同、「すべては子どもたちのために」の思いを胸に持ちながら、これからの未来を生き抜く子供たちの育成のため、力を尽くしてまいります。

2 千葉県教育の課題について

(1)働き方改革の推進

「学校における働き方改革推進プラン」の目標は、「時間外在校等時間が1か月当たり45時間、1年当たり360時間を超えないようにする」ことです。また、この目標を達成するために「子供と向き合う時間を確保できている教職員の割合が令和5年度末までに100%、勤務時間を意識して勤務できている教職員の割合が令和4年度末までに100%」となるように段階的に数値目標を引き上げてきました。

時間外在校等時間が45時間を超える教諭等の割合



令和4年11月に実施された「教員等の出退勤時刻実態調査」の結果によると、県内市町村立小中学校(千葉市立を除く)の「月当たりの時間外在校等時間が45時間を超える教諭等の割合」はわずかに減少傾向にあることがわかります。また、昨年度の意識調査において、「子供と向き合う時間が確保できている」と回答した教諭等の割合は64%、「勤務時間を意識して勤務できている」と回答した教諭等の割合は76%であり、共にプランで掲げている令和4年度の目標を達成することはできませんでした。今後は、働き方改革の推進に向けた取組をさらに加速していく必要があると感じています。

千葉県教育委員会では、令和5年度新規事業として、民間のノウハウを活用した業務改善に取り組むための調査活動を実施します。教員の働き方を分析し、業務改善と意識

改革を進めていきたいと考えています。また、令和5年3月29日付事務連絡により、文部科学省が「全国の学校における働き方改革事例集」をホームページ上に公開しました。「学校及び教師が担う業務の役割分担・適正化」「学校行事の精選や見直し」「ICTを活用した校務効率化」「教員業務支援員(スクールサポートスタッフ)の活用」「部活動の地域移行」等について先進的な事例が多く紹介されていますので、是非参考にしてください。業務改善については、まだまだいろいろと可能性があると思われま。コロナ禍において、児童生徒の欠席連絡や病状報告をメールで受け付けることにより、業務の負担が軽減したという話も聞きました。市町村によってシステムは様々なようですが、働き方改革推進プランの目的でもある「教職員が心身ともに健康を保つことができる環境を整え、子供たちの成長に必要な、効果的な教育活動を持続的に行うことができるようにする。」を達成するために、各学校、市町村及び県教育委員会が一体となって、管内教職員の「働き方改革」をもう一歩前へ進めていきましょう。

(2)人材育成

5月中旬から学校訪問が始まりました。

学校訪問を通して感じることは、本当によく努力され、素晴らしい実践をしている先生方が多くいるということです。中でも、ベテランの先生方が長年培ってきた子供との関わり方や表現、授業規律、子供たちをいかに授業に巻き込んでいくかという部分は若い先生方に、是非、学んでいただきたいと思います。また、若手や中堅層の先生方も若さ溢れる一生懸命さの伝わる授業をしている方が多くいます。ICT機器を駆使して、子供の興味関心を高めるなど、新しい教育方法を探っている先生もいます。このような先生方の教育実践を互いに開き合うことで、ベテランと若手が補充し合い、さらに授業力の向上を目指していただきたいと思っています。

学校における人材育成について、特に新規採用者は、大きな希望を抱きながら教員人生の第一歩を踏み出したところ。若い世代の育成には、ことさら丁寧な指導が必要であり、昔のような育て方では、人間関係につまずき、学校の流れに追いついていけず、職を辞してしまう者も出る可能性があります。1年目ではなかなか成果が出ない教員もいるかもしれませんが、3年後、5年後には学校で自信を持って活躍できる教員となるよう時間をかけてしっかりと育てていただきたいと思っています。

3 おわりに

新たな課題や解決が困難な課題へ対応する際、今まで行ってきた方法だけでは解決することが難しくなっているように感じます。課題を解決することが「できるか、できないか」だけでなく、「やるか、やらないか」「やるためにはどうすればよいか」という視点をもち、東上総の子供たちのために、様々な教育課題に対応していきたいと考えていますので、今後も事務所の業務に御理解・御協力をお願いします。

長生郡・茂原市小・中学校「研究主題等」

長生郡・茂原市小中学校の「研究主題等」について紹介いたします。各学校の研究に役立てていただければと思います。

学校名	研究主題	教科・領域	学校名	研究主題	教科・領域
東郷小	自ら考え、表現できる児童の育成 ～算数科における指導の工夫を通して～	算数科	豊岡小	数学的活動をとおして、数学のよさ を実感する授業づくり	算数科
豊田小	見方・考え方を働かせ、主体的に学 び合う児童の育成 ～自分の考えをもち、思考を深める 授業づくりを目指して～	算数科	東部小	数学的な見方・考え方を働かせる授 業の工夫	算数科
二宮小	「わかる」楽しさ、「できる」喜び を味わえる授業づくり ～基礎・基本の定着を図る算数科指 導を通して～	算数科	東浪見小	自ら考え、判断し、表現することの できる児童の育成 ～読むことを通して考えを深め、思 いを表現する指導の工夫～	国語科
茂原小	自ら考え判断し、表現できる児童の 育成 ～読む力を育む国語科学習の在り方～	国語科	一宮小	「わかる喜び」「学ぶ楽しさ」を感 じ、主体的に探究する児童の育成 ～思考し、表現する力を高める算数 科学習を通して～	算数科
西小	進んで学習に向かう児童の育成 ～算数科の指導の工夫を通して～	算数科	睦沢小	豊かな人間力や社会力を身に付け、 自ら一歩をあゆみ出す15歳の育成 ～系統的・横断的な指導によるコミ ュニケーション能力の育成を中心 として～	総合的な 学習の時間 生活科
五郷小	自ら考え表現する楽しさを味わわせ る国語科指導 ～豊かな言語感覚と語彙力を育むた めの授業づくりの工夫～	国語科	一松小	生きる力を支える確かな学力を身に 付けた児童の育成 ～算数科におけるICTを活用した 基礎的・基本的な内容の習得を通 して～	算数科
鶴枝小	情報を的確に理解するための「読解 力」を向上させる指導法について ～様々な資料の読み取りをふくめた 読解を通して～	国語科	八積小	自分の考えを広げ深める子どもの育 成 ～学びをつなぎ、考える力を育てる 算数指導～	算数科
萩原小	「主体的・対話的で深い学び」につ ながる授業づくり ～じっくり考え、表現する力を高め る指導の工夫～	算数科	高根小	楽しみながら主体的にコミュニケー ションを図ろうとする児童の育成 ～外国語科・外国語活動の授業実践 を通して～	外国語科 外国語活動
中の島小	「ふるさと茂原」の自然や文化を愛 し、社会に貢献できる児童の育成 ～ふるさと学習『茂原学』の充実を 目指して～	総合的な 学習の時間 (茂原学)	白湯小	「考え、議論する道徳」の授業にお ける指導方法の工夫 ～自他を大切にし、よりよく生きよ うとする児童の育成を目指して～	道徳科
本納小	主体的・対話的で深い学びの実現に 向けた授業の在り方 ～数学的活動を通して、児童が数学 のよさを実感する授業づくり～	算数科	南白亀小	進んで学び、考える児童の育成 ～導入の工夫に重点を置いた算数科 指導～	算数科

長柄小	伝え合う喜びを実感できる児童の育成 ～ICTの効果的な活用と学力向上を目指して～	国語科 算数科	関小	一人一人が輝き、「わかる」「できる」喜びを味わえる授業づくり ～自分の思いや考えをもち、進んで伝えようとする児童の育成～	算数科
日吉小	自己を見つめ、考え、共によりよく生きる児童を育てる道徳教育 ～「自分のこと」として主体的に学び合う授業づくりを目指して～	道徳科	長南小	主体的に学習に取り組む態度を高める授業づくりと評価 ～長南モデル「できる・わかる・かかわる」活動の実践を通して～	体育科 国語科
東中	自ら思考し、表現できる生徒の育成 ～授業力の向上を通して～	全教科 全領域	一宮中	夢をもち、創造し、自らの力で切り拓き、お互いを認め合う生徒の育成	福祉教育
富士見中	主体的・対話的で深い学びを実現するための授業のあり方 ～ICT機器の活用を通して～	全領域 ICT	睦沢中	豊かな人間力や社会力を身に付け、自ら一步をあゆみ出す15歳の育成 ～系統的・教科等横断的な指導によるコミュニケーション能力の育成と学力向上を目指して～	全教科 総合的な学習の時間
茂原中	豊かな心と確かな学力を身につけた生徒の育成 ～授業力の向上を通して～	全教科 全領域	長生中	「確かな学力」を身に付けた生徒の育成 ～「思考し、表現する力」の向上に向けた指導法の工夫・改善を通して～	全教科 全領域
南中	探究的な学びを生み出す授業デザインの構築 ～教員の協力的な学びをとおして～	全教科	白子中	「学び合い」を通して、自ら学び、思考し、表現できる生徒の育成	全領域
本納中	自ら学び、確かな学力を身に付けた生徒の育成 ～「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善～	全教科 全領域	長柄中	学ぶ喜びを感じ、主体的に学習に取り組む生徒の育成 ～指導法の工夫・改善を通して～	全教科
早野中	主体的に学んで確かな学力を身につけ、自己の思い描く進路の実現を目指す生徒の育成	全教科	長南中	確かな学力を身に付けた生徒の育成 ～個に応じた指導の充実を通して～	国語科

<研究大会・指定校・推進校等紹介>

研究大会・指定校・推進校等	学校名	指定年度	公開予定
千葉県算数・数学教育研究大会	茂原市立豊岡小学校	令和5年度	令和5年10月31日
茂原市研究学校指定校	茂原市立中の島小学校 茂原市立東中学校	令和5、6年度	令和6年11月頃
千葉県福祉教育推進指定校	長生村立一松小学校 長生村立八積小学校 長生村立高根小学校 長生村立長生中学校	令和5～7年度	公開なし
特色ある道徳教育推進校における研究事業	白子町立白濁小学校	令和5、6年度	令和6年11月頃
関東地区小学校道徳教育研究大会千葉大会	長柄町立日吉小学校	令和5、6年度	令和6年11月29日

※ 各学校の研究仮説・目標・視点・焦点については「千葉県長生地方教育研究所ホームページ」(右記QRコード)内の「令和5年度長生郡・茂原市小・中学校研究主題と研究仮説等」に記載してありますので、ご参照ください。



(長生地方教育研究所)

令和4年度長期研修生研究発表会について

昨年度の長期研修生の研修成果を地域で共有することを1つの目的として、研究発表会を行います。該当教科の研究内容に興味のある方はもとより、長期研修を目指している方、教研集会での提案者となっている方は、ぜひご参加ください。先進的な研究内容やレポートのまとめ方など、参考にさせていただければと思います。多くの先生方のご参加をお待ちしております。

○期日 8月1日(火)午後1時30分～

○場所 長生教育会館 大会議室

☆国語科☆ 長生村立八積小学校 太田和 絃子

〈研究主題〉

地域単元を通して問題解決能力を育む書くことの学習
～企画書づくりにおける学習プロセスを踏まえた個別支援～

〈研究の概要〉

予測困難な時代を生き抜く児童にとって、問題解決能力を身に付ける必要がある。そのために、学習プロセスを通して問題解決能力を磨き効果的に言語操作して書く力を育成すること、学習プロセスに即した支援と学習形態の工夫を通して個別最適な学びを充実させること、地域教材を扱い書くことを通じて地域の問題に深く関わろうとするこの三点を視点に、地域を教材として書くことの研究を行った。これらの方法が、地域理解や、問題解決能力、書くことの力を高めるために有効であることがわかった。

☆理科☆ 一宮町立一宮小学校 渡邊 耕一

〈研究主題〉

小学校4年生「すがたを変える水」の「結露」について学びを深め日常生活につなげる理科指導

〈研究の概要〉

水蒸気の学習は、児童にとって見えないものが存在することから理解することの難しさが指摘されている。主体的・対話的で深い学びの実現には、児童の興味関心を高める授業を行い、疑問を解決し、日常の自然現象と学びをつなげていくことで、深い学びにつながると考えた。そこで、「すがたを変える水」において水の温度変化と様子について追究していく授業をつくり、検証を行った。その結果、質問紙調査で有意な差が生じ、確認問題で正答率が向上したため、深い学びを実現することができた。

☆算数科☆ 一宮町立一宮小学校 吉原 慎司

〈研究主題〉

統計グラフを読み取る力を育成するための指導の在り方
～グラフのかきかえ、問題作成、問題解決の学習活動を通して～

〈研究の概要〉

日常生活の中には、誤解が生じやすいグラフが用いられている場合があり、児童はグラフを一面的にしか捉えず、情報を誤って理解することがある。本研究では、小学校算数科「データの活用」領域において、グラフを読み取る力を育成することに焦点をあてた単元を新設した。「グラフのかきかえ」「問題作成」「問題解決」という一連の活動を設定し、検証授業の結果、1目盛りの大きさや縦軸の範囲をかえる活動は、グラフの形にだけ捉われることを防ぎ、グラフを正しく読み取ることに有効であることがわかった。

☆総合的な学習の時間☆ 一宮町立東浪見小学校 樋口 陽樹

〈研究主題〉

活力と魅力ある一宮町の創り手の育成
～ESDの視点に立ったプロジェクト型学習を通して～

〈研究の概要〉

第6学年において、ESDの視点に立ったプロジェクト型学習(PBL)に取り組んだ。全19のプロジェクトが立ち上がり、各々が作成した企画書をもとに、実践活動や自治体への提言など、課題解決のための具体的な活動を行った。その結果、「進んで参加する態度」等、ESDで重視する能力・態度の素地を身に付けることができた。最後に他者評価を受けたことで、「地域社会をよりよくすることができる」と考える児童が増え、シビックプライド尺度調査における社会参画の意識を高めることができた。

令和5年度長期研修生紹介



☆教育臨床☆ 白子町立関小学校
佐藤 陽子

〈研究主題〉

「対応が難しい」と感じた時、教師を支えたもの
～教師の未整理の事例を振り返る事を通して～



☆国語科☆ 睦沢町立睦沢中学校
西谷 真澄

〈研究主題〉

伝え合うことで考えを形成する読書指導の研究
～ブックトークの単元開発を通じた協働的な「読み」の学習指導～



☆体育科☆ 茂原市立萩原小学校
永野 和哉

〈研究主題〉

ポートフォリオを用いた自己の伸びが実感できる体育学習の在り方



☆外国語科☆ 茂原市立本納小学校
佐々木 有紀子

〈研究主題〉

小中連携による書く力を育む外国語科指導
～相手意識を大切にした段階的な言語活動を通して～



☆外国語科☆ 茂原市立東郷小学校
渡邊 志乃

〈研究主題〉

音と文字をつなげる明示的な音声指導の在り方

今年度は長生地区から5名の先生方が長期研修生として大学等で研修を進めています。

長生地方教育研究所はこんなところ

長生地方教育研究所では、皆様の教育活動を支える素敵な資料が多く揃っています。

① 教科書(様々な出版社のものを取り揃えています！)



メリット

- 日頃の授業のアイデア発掘
- 校内研究の参考資料に活用
- 小中の系統性を意識した授業づくり

② 千葉県長期研修生研究報告書(長期研修を志している方は是非！)



メリット

- 先行研究調べに活用
- 報告書作成の参考資料に活用
- 長研OBとコンタクトが取れる

③ 支部教研レポート



メリット

- 教研レポート作成に活用
- 所属部以外のレポートの閲覧
- 授業研究のアイデア集め

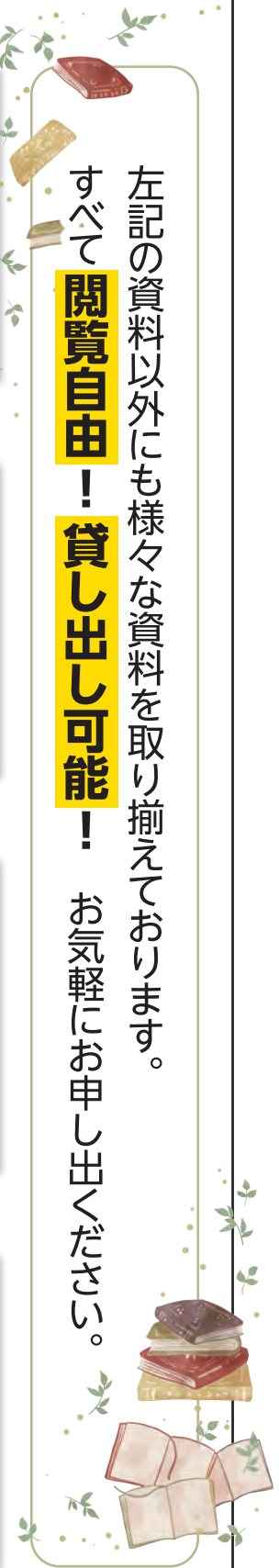
④ 教育関係書籍



メリット

- 日々の研究と修養に役立つ
- 気になった書籍は借りられる
- 様々な雑誌を同時に閲覧できる

左記の資料以外にも様々な資料を取り揃えております。
すべて**閲覧自由！貸し出し可能！**お気軽にお申し出ください。



長生地方教育研究所では、皆様の教育活動を支える研修を企画しております。

1 学校経営研修会

内容：管理職選考試験に向けた学校経営・教職教養や論文の対策
こんな方におススメ：将来的に主幹教諭・教頭・校長を目指す方

2 教育研修会

内容：長期研修の研究報告書の作成方法や
選考試験の面接・プレゼン対策
こんな方におススメ：将来的に長期研修に出たいと
思っている方

3 教務主任研修会

内容：教務主任に向けた講話や情報交換
教務主任が全員参加します

4 研究所研究発表会・長期研修生研究発表会

内容：研究所各部の研究発表
前年の長期研修生の研究発表
こんな方におススメ：長期研修を目指す方，教研集会の提案者の方



例年、たくさんの方々が参加
してくださっています。

上記の資料や研修に興味がある方は是非！長生地方教育研究所までご連絡ください！

所員の紹介

所長 矢部 重秋 (茂原市立富士見中学校校長)
研究所長としてお世話になっています。
長生地方教育研究所では、先生方の教育実践のお力添えができるよう役立つ情報の提供や各種研修を行っています。所員一同精一杯活動してまいりますのでぜひご活用ください。

主事 篠田 淳志 (茂原市立茂原小学校)
研究所では注目されている様々な情報を先生方に発信しております。また、資料の検索や貸し出し、指導案やレポート作成のご相談など、先生方のお役に立てる各種の活動にも取り組んでおります。いつでもお気軽にお立ち寄りください。

調査部

<研究主題>
SDGsの実現に向けた取組に関する調査



齋藤 智樹 (茂原市立豊田小学校)
今田 育栄 (長生村立高根小学校)
小関 かずさ (長生村立長生中学校)
樋口 陽樹 (一宮町立東浪見小学校)
SDGsの実現に向けた長生郡市小・中学校や全国の取組を調査して紹介します。今年度は、アンケートを集約し、紀要としてまとめます。

編集・発行
千葉県長生地方教育研究所
茂原市東郷2300-1
TEL 0475(24)9721・FAX 0475(23)4820
メール kenkyujo@beach.ocn.ne.jp



研修部

<研究主題>
教育課題の改善におけた効果的な情報提供



渡邊 幸久 (長柄町立長柄小学校)
鈴木 謙一 (白子町立白瀧小学校)
宮崎 愛 (一宮町立一宮中学校)
齊藤 亮平 (茂原市立本納中学校)

今年度からカラー版となった「研究所だより」を年3回発行し、教育実践や教育研究等の参考となる資料を紹介いたします。また、研究紀要発表会や長期研修生報告会などの研修会の運営を行っています。

情報部

<研究主題>
研究の深まりと校務の効率化を目指して



今村 賢司 (茂原市立茂原小学校)
中田 聡美 (睦沢町立睦沢中学校)
栗原 秀年 (茂原市立富士見中学校)
櫻庭 朝日未 (長南町立長南小学校)

現場の教育研究、実践に役立つ教育資料の作成と紹介をします。また、GIGAスクール構想の実現に向けた情報の収集やシステムの構築にも取り組んでいきます。